

糖尿病性神経障害スクリーニング

Michigan Neuropathy Screening Instrument (MNSI)

項目	右	左
足の外観 異常なし → 正常 0 点 何らかの異常あり → 異常 1 点	0 1	0 1
潰瘍 なし → 0 点 あり → 1 点	0 1	0 1
アキレス腱反射 あり → 陽性 0 点 Jendrassik 手技で陽性 → 誘発で陽性 0.5 点 なし → 陰性 1 点	0 0.5 1	0 0.5 1
母趾振動覚 知覚の差が 10 秒未満 → 正常 0 点 知覚の差が 10 秒以上 → 低下 0.5 点 患者が知覚できず → 消失 1 点	0 0.5 1	0 0.5 1
合計	<u> </u> /4	<u> </u> /4
	<u> </u> /8	
母趾モノフィラメントテスト(参考) 8 回以上知覚可能 → 正常 0 点 1~7 回知覚可能 → 低下 0.5 点 知覚できず → 消失 1 点	0 0.5 1	0 0.5 1

評価のために、足を 30°C 以上に温めること。

足の外観: 著明な乾燥肌, 胼胝, 亀裂, 変形, 切断の有無。

アキレス腱反射: 陰性の場合 Jendrassik (イエンドラシク) 手技 (手指を互いに引っかけて水平に引く) で誘発する。

母趾振動覚: 母趾の IP 関節背側の骨が突出している部位で患者は閉眼の状態、振動している音叉から振動を感じることができなくなったら合図してもらうように指示する。検者の指での振動知覚と患者の母趾の知覚の差を評価する。

モノフィラメントテスト: フィラメントは最初に検者の示指の背側に 4~6 回垂直に当ててしなやかにしておく。患者の足底を支えておき、フィラメントは患者の母趾の背側の爪郭と IP 関節の中間に、垂直に一定の圧で 1 秒未満当てる。この時、母趾を直接つかんではない。患者は閉眼の状態、フィラメントが触れているのを感じるかどうか答えて貰う。10 回当てて、その触知可能な回数をカウントする。

8 点中 2 点以上を陽性. LR+ 3.8~16, LR- 0.2~0.4